



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「集う」



◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 井之下 雄志

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1248 回	58 名	57 名	46 名	—	80.70%
前々回 1246 回	58 名	57 名	50 名	2 名	91.23%

- 点 鐘
- ロータリーソング それでこそロータリー
- 四つのテスト
- 本日のゲスト 国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー 剣田 廣喜 様

●会長の時間 会長 村瀬 祐治

- ① 本日は、剣田廣喜ガバナーには多用の中、卓話を頂くこととなりありがとうございます。今期は、高山 3 ロータリー合同例会・濃飛グループ IM が新型コロナウイルス拡大防止のためガバナー訪問が中止となりましたので例会において頂きお話を聞くことといたしました。宜しく申し上げます。
- ② 本日、例会終了後 次期理事・役員を選考会内定会議を開催いたします。選考は指名委員会によって行われますが、本日の内定委員会は 6 名で構成され次期会長エレクト・次期副会長・次期副幹事を内定するものでその後、10 月には 5 代前の会長に参加して頂き指名委員会にて選考いたします。12 月年次総会にて決定いたします。
- ③ さて、会長の時間を頂き積立金の取り扱いについてお話いたします。高山中央ロータリークラブは創立 30 年が立ちましたが、積立金の目的・積立金使用方法などについて高山中央ロータリークラブの約束事・細則・内規などに明記されておらず、今までは理事会にて審議されて使われており、理事会の決議事項にも明確にされておられ

んでした。私の所信表明に、積立金の運用を明確にして情報共有をできるようにするとしておりますので、高山中央ロータリークラブ細則 16 条改正に従い日程を 8 月 31 日第 2 回理事会で決めさせて頂きました。本日、書面で皆様に通知し来週の 14 日例会会長の時間を使って、皆様にご意見をお聞きして決めて参りたいと存じます。内容については、理事会に於いて色々な意見を頂きましたが、現状で無いのだから決めて頂き、5 年後 10 年後、多面的な意見と状況が変わればメンバーの総意で変えていくことができます。是非、この案に賛同して頂きたいとお願いいたします。

●幹事報告 幹事 岡崎 壮男

◎RI 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・ガバナー月信 9 月号

・ロータリー財団研修セミナー中止のお知らせ

○国際ロータリー第 2750 地区東京米山ロータリーEクラブ 2750 より

・「医療物資支援プロジェクト第 2 弾」について

<国際プロフェシスト高山より>

・新事務所のご案内

〒506-0026 高山市花里町 1-117

高桑 眞佐子

<高山市民憲章推進協議会>

・文化講演会のご案内

日時：11 月 2 日(月)18:30～

会場：高山市民文化会館小ホール

出演者：紺野美沙子朗読

中村由利子ピアノ演奏

<故金 正司様より>

・迷惑メールに関するお詫びと注意喚起

●ガバナー卓話

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー

劔田 廣喜 様



皆様今日は、G(ガバナー)として、4年ぶりのご無沙汰でございます。高山中央 RC の皆様には、ご承認をいただき、第 2630 地区では、前代未聞といわれております 2 度目のガバナーを務めさせていただいております、劔田でございます。ガバナーとは、第 2630 地区(岐阜・三重)の管理者あり国際ロータリー(世界約 3600 クラブとローターアクトクラブの連合体)の役員です。ガバナーは国際ロータリー理事会の一般的な指揮、監督の下に地区内のクラブに対する支援を行うことで、ロータリーの目的を推進する任務を課せられています。ガバナーとは組織の管理者という意味であります。知事という意味もありますので、今話題の小池都知事は、ガバナーオブ東京という事になります。韓国ではガバナーの事は総裁と呼び台湾では総督と呼びます。日本ではそのままガバナーと呼んでいます。国際ロータリーにも高山中央ロータリークラブにも理事会がありそこが最高意思決定機関となります。しかし、第 2630 地区には理事会がなく、ガバナーが単独決済責任者となっています。ですから 2630 地区で何か問題が起きるとそれはすべてガバナーの責任という事になります。それでは、精神的にも、肉体的にもガバナーの負担が大きく、精神的にはガバナー経験者による、諮問委員会、肉体的にはガバナー補佐に一部権限を委譲して負担を軽減して地区運営にあたっています。

現在コロナ禍によって、世界が日本がそしてロータリーが大変な困難に直面しております。

現在コロナ禍によって、世界が日本がそしてロータリーが大変な困難に直面しております。

当地区におきましても会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会(district training assembly)、そしてセミナーなどが中止となり、オンライン研修に切り替えを致しました。新年度に入りまして、コロナの第 2 波の影響で、8 月 9 月の合同公式訪問、グループ研修が、ほとんどが中止か延期となり、例会が休会となるクラブも出て参りましたし、もうロータリーどころでないという会員の声も聞こえてきております。其処のところは、私は 2 回目ですので、割と平然としておりますが、同期のガバナーは、出番を失い、本当に悔しい気持ちでいっぱいだろうと思っております。地区によりましては、ガバナーの顔をなかなか見たことがない、という地区もございます。その点、我が地区では、私は 2 回目でございますので、別にガバナーの顔は別に見なくてもいいといわれておりますし、この有事の時ですから、私でよかったという声もたくさん聞こえております。ここに私が 2 回目を拝命する意味があったのかなーと考えております。現在、コロナ禍でロータリー活動は制約されていますが、今こそ本質を見つめて、ロータリーとは何かを考える時だと思えます。又、この状況はすぐには変わりません。ならば、自分の認識を変えるしかありません。起きていることをネガティブに捉えるのではなく、できるだけポジティブに「良いも悪いも本人の考え次第」です。そして、私たちは、コロナと戦う中でまた、それを乗り越えた先に、あーロータリアンで良かったと思われるロータリーにしていかなければならないと思えます。今日は、ガバナー卓話ということで、皆様にご出席いただいたわけですが、今日、朝からウキウキとしてここへ来られた方は、私も含めて誰一人いないのではないかと思います。私もロータリアンになりまして、30 年近く経つわけですが、ロータリー集まりで朝、楽しく出かけたことはいまだかつて一度もございません。ただ、ゴルフや旅行、一杯

飲むときには、これはもうウキウキとして出かけるわけですが、このような卓話やセミナーなどは、非常に面白くないと思ってしまうのですが、ただ一つ救われるのは、何回かに 1 回ですが、あれ、今日来て良かったと思う時があるのです。本日がそういう日であることを皆さんと祈りながら、私の話を聞いていただきたいと思えます。ロータリーというのは、甚だ妙なものでありまして、入り込むとずるずると入り込んでいくわけですが、これが嫌になりますとこんなつまらないものというのがバイオリズムみたいに続きます。これがロータリーの魅力といえれば魅力かもしれませんが、こういうスランプの時は俯瞰して、一度ロータリーをそして自分を見直してみますと案外道が開けてくるものであります。またロータリーとは、何かとか、ロータリアンとは何かというのは、大変難しい問題であります。ただ一つ言えることは、ロータリアンだから税金が安くなるとか、儲かるとか儲からないとか絶対にありません。ですから、別に嫌だったら、辞めたらいいのです。別に罰金も何も取られるわけではないのですから。おもしろかったら、やってみればいいですよ。ただ、辞めるにあたっては、本当に嫌になるまで、やったかどうかはお考えいただきたいと考えております。クラブによって違うと思いますが、会費やニコニコとか米山、R 財団の寄付などそんなのをいれますとうちのクラブでも 3~40 万円くらいお金を使います。もっと多いクラブもあると思います。それと大体 40 回くらいの例会として、例会は、1 時間とありますが、その前後の時間をいれて、それから、委員会やなんやかんや出ると言われ、時々出ないとまずいと思ってしまうのを全部いれると最低 100 時間くらいロータリーに使います。私のようなガバナーとかロータリー命というような人は、別ですよ、ほとんどロータリーのために時間を使っています。それとクラブ内でちょっと気を遣いまね。こんなこと言いた

いけど、この人怒るかもしれないと思って妥協して気も遣います。気を遣って、100 時間使って、3~40 万円使って、果たしてこれで採算取れるかどうか考えたときに採算取れないと思った人がロータリーを辞めていきます。では、辞めない人ってどういう人達かといいますとロータリーに魅力を感じている、ロータリーを理解している、ロータリーにメリットを感じている、そういう人達です。それではロータリーの魅力とは、何でしょうか。これは、会員によって異なります。しかし、本質の中から見出された魅力でなければ、長続きしません。ロータリーの本質とは、何でしょう。私は、ロータリーの両輪といわれております親睦と奉仕であると考えております。

現在、コロナ禍によりロータリー活動はかなり制限されていますが、そこでコロナ禍における人類の生き方、またロータリーのあり方を考えてみたいと思えます。川柳に”落語家殺すに刃物はいらぬ、欠伸一つもすればよい”と言うのがあります。ロータリーにもあります。ロータリー殺すに刃物はいらぬ、前年どうりにやればよい。そのひそみに倣えば “コロナ殺すに刃物はいらぬ、人の流れを止めりゃよい” ということでしょうか。

新型コロナウイルス感染拡大は、何事もグローバル化が正しいという潮流があり、行き過ぎた資本主義がベースになっていると言われております。資本主義を前提とした自由主義経済を堀場製作所の創業者堀場正雄 PG は非常に簡単にいうと、たくさん作ってたくさん売る事と言われております。たくさん作ることににおいては、地球の資源をやはりたくさん使わなくてはならない。作るときには、地球のエネルギーをたくさん使わなくてはならない。そして、たくさん売ると言う事はどこかで消費がなかったら、売れませんからね。ドンドン消費する。消費すると言う事は、どこか廃棄がなかったら、ドンドン物がたまりますから、ドンドン捨てて

いかないと消費できないわけです。このサイクルを考えていくと、一番今が 21 世紀の大きなテーマの一つであります地球環境ということにおいては、たくさん資源を使い、たくさんエネルギーを使い、そして廃棄することによって、またそこに廃棄物を処理するために大きなエネルギーと資源を使う。これで経済が発展することは、これはもう地球環境において限界にきていることはだれも否定できない訳です。資本主義の前提である、「自由主義経済」とは、誰でも自由に制限なく経済活動ができる」という事です。この致命的欠陥は、弱肉強食、強いやつが弱いやつの肉を食う。強いやつはますます太る。弱いやつはますます痩せていくと言う事ですね。だから日本でも、実力主義とか、成果主義というのは、みなそうです。やる奴にはドンドンサラリーをたくさんあげましょう。やらない奴には、ボーナスも出させよということは、まさに弱肉強食なんですね。それはもちろん会社の中でも行われる、地域の中でも行われ、そして国家間でも行われているわけですね。これは原則として、スクラッチプレーです。ゴルフの場合でしたら、ハンディを 10 くださいとか、8 くださいとかで、ハンディをもらって、対応する競争ができるわけですが、残念なことに経済の戦いというのは、「お前のところは弱いから、10%、20%原価やすくしてやろう」と、そんなこと言ってくれませんよ。全部スクラッチプレーですから、シングルの人とハンディ 36 の人とだったらハンディ 36 の人は、負けますね。もう決まったことです。ということは、弱い国はドンドン弱くなる。強い国はドンドン強くなります。

今の世界で色々戦いが行われている。もちろんこれは民族の問題とか、宗教の問題とか色々あります。あるけれど、その大元は何か、根本的な問題は何か。これは富の偏重なのです。色々理屈は言うけれど、結局はドンドン儲かっている国と、ドンドン疲弊している国がある。け

しからん、これをやっつけるにはどうしたらいいか。シングルの人とハンディ 36 の人とゴルフをして、シングルに勝つ方法は何か。それは、白杭を持って、シングルが打った途端に走り、ボールが落ちた内側に白杭を打つんですよ。そうすると、それは OB ですよ。自分が打つ時には、白杭を全部外してしまっただこへ打つても OB はないですね。これは何かって言うと、これがテロなんですよ。テロしか、アウトローしかシングルの人に勝つ方法はないんです。だからテロが行われている。テロの原因は何か。富の偏重なのです。非常に明確な答えだと思います。ではポストコロナのロータリーはどうか？今やロータリーは物財奉仕（形を持たないサービスから形のある目に見えるサービス）に傾倒して心が希薄になっています。ロータリーは「人道的慈善団体」であるよりも、戦前の RI がそうであったように「人づくり」のロータリーに回帰すべきではないでしょうか。筋道の通らない、不条理の世界で住なすものは、人類に幸せをもたらすものは、人間の心なのです。「人づくり」に徹するだけで十分にロータリーがこの世に存在する価値はあるのです。ロータリーがともに歩んできた民主主義も資本主義も行き詰まりを迎えているといわれます。行き詰まりを打開する答えは、これらの制度の中からは見つかりません。その答えはロータリーが大切にしてきた「自己抑制と他者への奉仕」寛容であります。私たちはこのロータリーの心を取り戻さなければなりません。その意味で、今こそロータリーの建て直しが必要だと思います。「職業奉仕」の復権による、ロータリーにおける第二のルネサンスが待望されるのです。私たちはロータリーを生業とするものではありません。私たちが世の中で一番貢献できることは何か。足元の、自己の職業を通じた社会への奉仕だと思うのです。企業上の不祥事が絶えない今日の世界にあってみれば、尚更に、伝統的「職業奉仕」の実践で、ロータリーは十分に

存在価値があると思っているのです。
 ポールハリスは「社会に役立つ人間になる方法はいろいろありますが、最も身近で、しばしば最も効果的な方法は、間違いなく自分の職業の中にあります」と言われております。
 今こそ、ロータリーのロータリーたる所以である職業奉仕の扉を開く時です。
 Open the door to vocational service です。
 ご清聴ありがとうございました。

9 月のお祝い



< 会員誕生日 >

下田 徳彦	S 4 2 年	9 月 4 日
中田 一男	S 2 3 年	9 月 9 日
平林 英一	S 2 6 年	9 月 1 6 日
新井 信秀	S 2 6 年	9 月 2 0 日
高原 武夫	S 2 4 年	9 月 2 1 日
内田 茂	S 2 6 年	9 月 2 1 日
村瀬 祐治	S 2 8 年	9 月 2 2 日
三枝 祥一	S 2 5 年	9 月 2 5 日

< 夫人誕生日 >

足立 常孝 加代子 9 月 1 5 日

< 結婚記念日 >

都竹 太志 H 1 5 年 9 月 2 1 日
 高木 純 S 6 1 年 9 月 2 7 日

< ニコニコ BOX >

本日はスピーチの機会を与えて頂きありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

ガバナー 劔田 廣喜 様

ガバナー公式訪問がなされない中、劔田ガバナーに卓話を依頼したところ快く受けて頂きありがとうございます。ご指導の程よろしくお願ひ致します。 理事役員一同

今月はバースデーなので少しニコニコへ。

内田 茂

先日 4 日に 53 歳の誕生日を迎えました。健康であることに感謝してニコニコへ。

下田 徳彦

本日、名古屋にて 16 時より契約があります。高速道路での強風で間に合わないかもしれないので早退します。本日もありがとうございます。 住 裕治

久しぶりのニコニコ担当になりましたので少しですがニコニコへ。 古橋 ひと実

